

都市計画道路大安寺柏木線の都市計画(原案)についての 説明会概要

日 時:平成28年10月22日(土)19時~20時30分

場 所: 奈良市立大安寺西小学校 体育館

出席者: 113名

【主な質疑応答】

【道路計画】

- 柏木町交差点付近の道路幅員は21mであるが、計画道路の位置は、消防署の方にはかからずに北側の方によっている。消防署の指導で2年前に建築した危険物倉庫があるので、よく検討してほしい。
 - (県) 消防署の広域な防災拠点としての機能を損なうことなく、また国道24号の交差点の線形も踏まえて北側へ拡幅する計画としている。
- わかりますが、そういうことであれば、この工事について反対する。危険物倉庫は、一般の倉庫とは違うのでそこを考えてもらいたい。

- (都) 大安寺柏木線の横断図を見ると、自転車と自動車が同じところを走るように思うのでちょっと怖い。国道24号バイパスのように、自転車と自動車を分離するような配慮をしてほしい。
 - (県) 自転車専用通行帯は、国で定めているガイドラインにより計画している。ガイドラインでは、国道24号バイパスのような設計速度が60km/hの道路では自転車と車道の分離が必要であるが、(都) 大安寺柏木線のような設計速度が40km/hの道路では路肩に1.5m設ければ良いことになっている。

【駅前広場計画】

- 駅の一番近くに身障者用乗降場、その次にタクシー、バス、一番遠いところに一般車のように交通弱者を駅の一番近いところに配置すべきだと思う。駅前広場のレイアウトについて、交通弱者優先で検討してもらいたい。
 - (市) 駅前広場の計画平面図は参考図であり、今後、バス、タクシー会社との協議や改札口の位置などを考慮した上で、実施設計を行う。その際、車いすの乗降についても考慮させていただく。

【その他】

- 「奈良IC周辺のまちづくり計画基本構想」は、奈良県住みよい福祉のまちづくり条例を、すべてクリアするものでつくってもらえるのか。
 - (市) 現在、奈良IC周辺をどのようなまちにしていくのかという構想の段階である。事業実施に至る段階で、条例を考慮した設計を行っていく。

- 事業実施の時期はいつか。
 - (市) 鉄道の高架化や(都) 西九条佐保線の整備は、平成36年度を目標に進めており、周辺の整備

についてもそこを目標に進めていきたいと考えている。

- (都) 西九条佐保線のうち奈良ICより南側は、奈良ICの整備にあわせて整備されるのか。
→ (市) 奈良ICより南側についても、市において平成36年度に向けて整備をしていきたいと考えている。
- (都) 八条紀寺線の計画は、この前廃止になったと聞いた。(都) 八条紀寺線は、市道が代替えとなるのか。
→ (市) 廃止となった(都) 八条紀寺線の代替えとして、大安寺の南側を通る市道の整備を考えている。大安寺旧境内という史跡内を通過しており、文化財上の問題もあるが協議中である。
- 基本構想に(都) 四条線の記載がないが、計画がなくなったのか。
→ (市) 基本構想には、平成36年度に完成していると想定される道路を記載しており、(都) 四条線については平成36年度時点では整備はできていないと考えており、記載していない。
- 基本構想の対象地区について、奈良市が区画整理事業を行うのか。
→ (市) 奈良IC周辺は、市街化調整区域になっており、土地利用をする場合、区画整理事業などの面的な整備と考えている。しかし、奈良市では、現在2カ所で区画整理事業を施行中であるため、この奈良IC周辺については、民間事業者が事業展開する形を考えている。
- 「商業・観光・交流施設ゾーン等へ施設を誘致していきたい」と説明があったが、誰が主体となって誘致するのか。
→ (市) 県・市で、幹線道路や広場等の整備を行い、民間事業者にとっても魅力のある場所となるよう整備していきたい。また、奈良ICの南側は市街化調整区域となっているので、新たに市街化区域への編入、用途地域指定の変更等の都市計画手続きを進めていき、基本構想に則した施設の誘導をしていきたい。
- (都) 大安寺柏木線の整備ができれば、柏木町から自動車の流入があり、主な交通は(都) 西九条佐保線に流れると想像するが、市道中部第9号線(マルハンと天礼社の間の道路)にもかなりの車が入ってくる可能性がある。市道中部第9号線についても、計画に位置づけて整備してほしい。
→ (市) 今回、幹線道路の位置づけで(都) 大安寺柏木線を都市計画に定めて整備していくが、市道中部第9号線についてはそのような位置づけにはあたらないと考えている。この市道の歩行者の安全や通行上の課題については、管理している道路部局にご意見を申し伝えさせていただく。
- 市道中部第9号線や市道中部第675号線(県立図書館前の道路)は、工事期間中、トラックやダンプ等の交通量が増えると思うので、道路の修繕についても検討してほしい。
→ (市) 要望については、市の道路管理部局に伝えさせていただく。
- 市道中部第9号線について、恋の窪二丁目と三丁目の間にある緑地帯を利用することでもっと安全に通行できると思う。新たな道路のことばかり言っているが、現存の道路についても、都市計画に含めて整備してもらいたい。

→（市）現地を確認し、こういった整備ができるのか、自治会を通じて相談させていただく。

○ 奈良 I C から東に向けて旧国道 24 号までの区間（県道京終停車場薬師寺線）が、車が対向できないので一番困っている。この区間について、平成 36 年までに何かできないか検討してほしい。そうでないと、奈良 I C や新駅ができて、大安寺の方から行きにくいのが障害になる。

→（市）新駅・奈良 I C から東側については、県と市で協力して、こういった整備ができるか検討を進めている。

○ 用地買収はいつくらいになるのか。

→（県）平成 28 年度に都市計画決定、平成 29 年度に国の事業認可手続きを予定している。その次の年から地元に入り、用地境界を確定する作業を進めたい。時期は明言できないが、買収は少なくとも 2 年以上先になると考えている。

○ 新たに（都）西九条佐保線が整備されれば、三条添川町の交差点から南に向かって走行する場合、既存の交差点で右折できるのか。

→（県）新たな（都）西九条佐保線は 4 車線で中央分離帯を設けることになる。信号の位置は、警察と協議をしているが、将来的に整備予定の（都）大森西町線との交差点に設けたいと考えている。それ以外のところは迂回が必要となる。

○ 前回の説明会でそういった説明はあったのか。

→（県）前回の説明会では、（都）西九条佐保線の事業認可についてお知らせした。今後、地元に入る時に、どのようになるか詳細に説明し、皆様のご理解をいただけるよう進めていきたい。